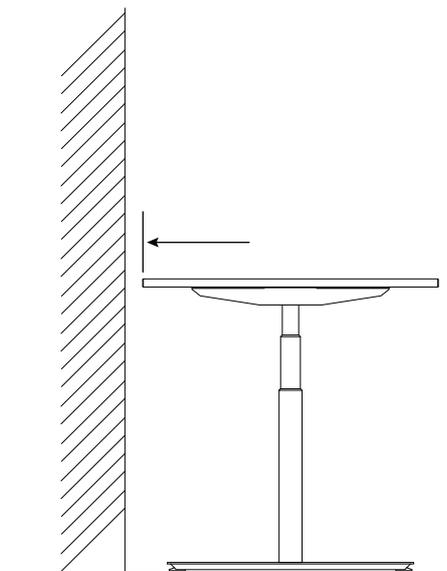
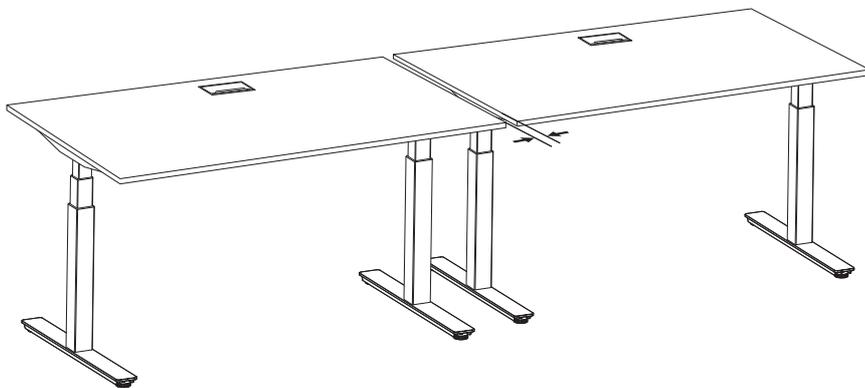


機能説明



設置における注意点



トラブルシューティング

故障かな？と思ったら
修理を依頼される前に次の事をご確認ください。

 **警告** ● 分解・修理・改造はおやめください。

状態	ご確認ください	解決方法
高さ調節機能が動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが正しい電圧のコンセントに接続されていますか？ コントロールボックスのランプは点灯していますか？ 全てのプラグがコントロールボックスに正しく装着されていることを確認してください。 ケーブル、コントロールボックス、支柱脚に目に見える損傷があるか確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい電圧（100V）に接続してください。 ランプがついていない場合はケーブルやコントロールボックスが損傷していないかまたは正しく接続されているか確認が必要です。 全ての接続が正しいことを確認してください。 （組立説明書を参照してください） 損傷した部品は交換が必要です。販売店にご連絡ください。
フレームが不規則の動作をする。又は傾斜している。	<ul style="list-style-type: none"> 障害物に接触していませんか ケーブル、コントロールボックス、支柱脚に目に見える損傷があるか確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害物を取り除きリセットを行ってください。（P.8 参照）
フレームが降下しかしない。	<ul style="list-style-type: none"> すでに最大高さに達していませんか？ フレームが過負荷状態の可能性がります。 	<ul style="list-style-type: none"> 天板を下げてからもう一度実行してください。 負荷を軽くして、再度実行してください。
フレームが常に最大高さに達する前に、同じ位置で停止する。	<ul style="list-style-type: none"> インジケータースイッチの場合はシステムがその高さにプログラムされていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> リセットを行ってから上昇または下降ボタンを押して動作させてください。（P.8 参照）
フレームが下がるときにすべての支柱脚が正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 動作していない支柱脚は故障している可能性があります。または支柱脚のケーブル接続が正常ではない可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての接続を確認し、リセットを行ってください。リセット後支柱脚が上昇しない場合は故障している可能性があります。
フレームは過負荷でもないのに、降下しか実行されません。	<ul style="list-style-type: none"> 天板やフレームが何かに接触していませんか？ すでに最大の高さに達していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 障害物を取り除いてリセットを行ってください。（P.8 参照） 天板を下げてからもう一度実行してください。

※ 解決策が有効でない場合、販売店または藤沢工業に連絡ください。

技術仕様

品番	幅 (mm)	奥行 (mm)	高さ (mm)	質量 (kg)	構造部材
FWD-1890	1800	900	650~1250	71.0	天板 : 25mm厚低圧メラミン樹脂化粧板 パーティクルボード ABSエッジ 脚部 : 鋼板・粉体塗装 脚支柱 : スチールパイプ・粉体塗装
FWD-187	1750	700	650~1250	63.0	
FWD-167	1550	700	650~1250	61.0	
FWD-147	1350	700	650~1250	59.0	
FWD-127	1200	700	650~1250	57.0	

最低寸法	650mm
最高寸法	1250mm
ストローク	600mm
許容負荷	60 kgまで (等分布)
昇降スピード	40mm/sec
デューティーサイクル※	10% (最大連続2分間動作後、18分間停止が必要)
使用温度範囲	0~40℃

コントロールボックス	
寸法	240×94×39.6mm
AC入力	AC 100V 50Hz/60Hz 4A
出力	DC 32V 最大 6A
待機電力	0.5W 以下
消費電力	170W
寿命	10,000 サイクル

●品質改善のため、予告なく本体外観、仕様などを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※ デューティーサイクルとは ON、OFF を繰り返すこと。

保証期間

目的以外の使用、取扱い上の不注意、乱暴な使用による故障などを除き、通常の使用状態における本製品の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年となっております。

■ 製品に関するお問い合わせは、ご購入店、または下記にお願いいたします。

藤沢工業株式会社

本社：岐阜市日野南7-1-7

東京：東京都中央区八丁堀2-8-2 八丁堀共同ビル3F

大阪：大阪府中央区安堂寺町2-2-11 NTビル7F

九州：福岡市博多区山王1-16-26 筑柴センタービル205

TEL：058(247)3311

TEL：03(3552)8824

TEL：06(6761)5511

TEL：092(433)5599

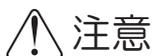
電動昇降テーブル FWD シリーズ 組立説明書

施工業者様へ

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

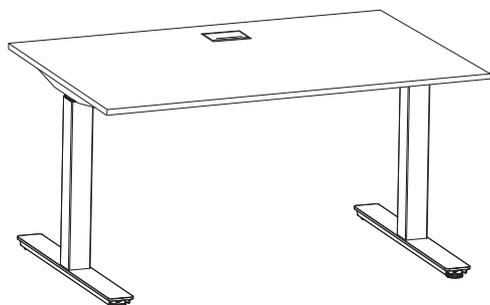
部材・部品一覧

組立前に、組立部材・部品を確認してください。
プラスドライバーを用意してください。



注意

組立の前に組立説明書を必ずお読みください。不適切な組立は重大な事故につながる可能性があります。また、重量がありますので、二人以上で組立してください。

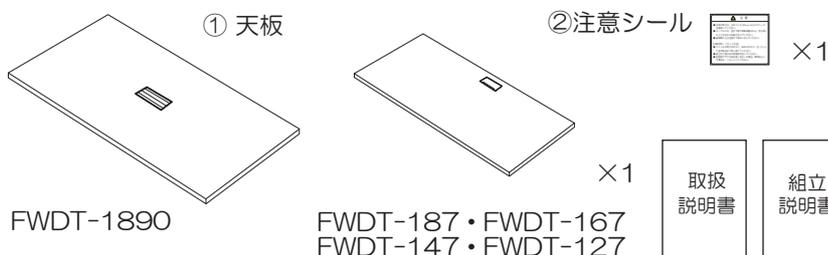


- 工具類の取扱いには十分ご注意ください。
- 組立の際は、お子様に注意し広い場所で行なってください。
- 組立の際は万一に備え、軍手の着用をお願いいたします。
- 組立説明書に従って、組立してください。手順を間違えると組立たないことがあります。
- また、ネジの部分は確実に組立してください。不十分ですと使用中に製品が破損してけがをすることがあります。
- 組立の際は、製品及び床面を傷つけないようご注意ください。
- 配線コード類は傷をつけたり、挟んだりしないよう、取扱いにはくれぐれも注意してください。

梱包：天板

品番：FWDT-1890・FWDT-187・FWDT-167
FWDT-147・FWDT-127

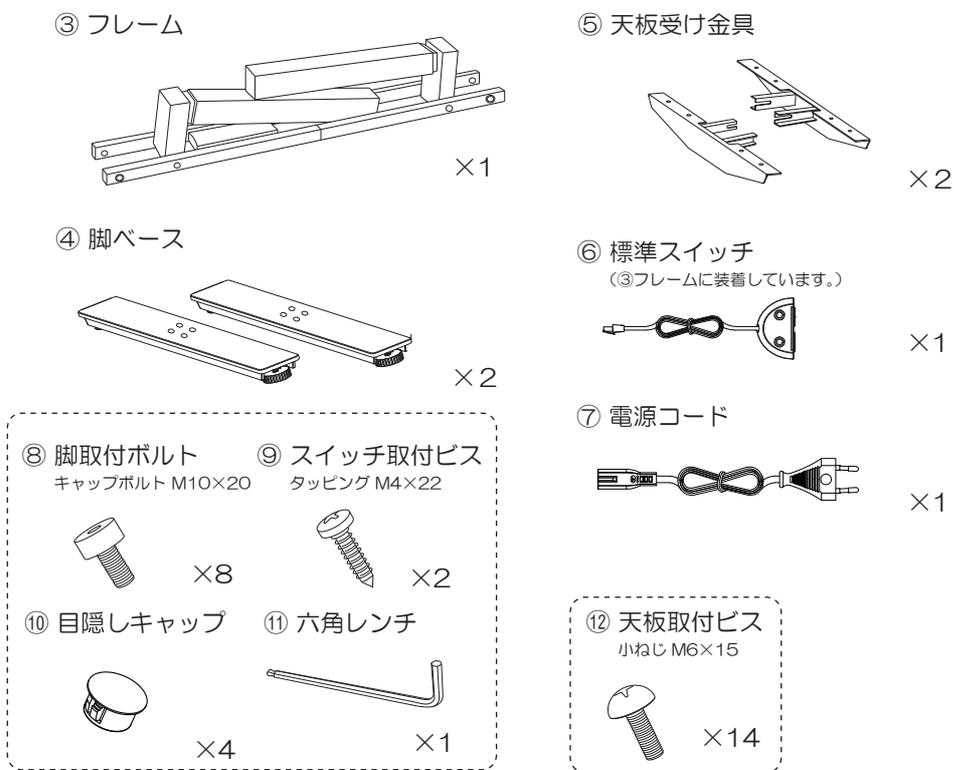
部品名称	数量
① 天板	1
② 注意シール	1



梱包：脚フレーム

品番：FWD-TEK1

部品名称	数量
③ フレーム	1
④ 脚ベース	2
⑤ 天板受け金具	2
⑥ 標準スイッチ	1
⑦ 電源コード	1
ボルトセット (箱詰)	
⑧ 脚取付ボルト	8
⑨ スイッチ取付ビス	2
⑩ 目隠しキャップ	4
⑪ 六角レンチ	1
ビスセット (袋詰)	
⑫ 天板取付ビス	14
オプション	1
⑬ インジケーター付スイッチ	1
⑨ スイッチ取付ビス	2
⑭ 衝突感知センサー	1
⑮ 衝突センサー取付ビス	2



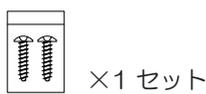
オプション

品番：FWD-TDH5

⑬ インジケーター付スイッチ



⑨ スイッチ取付ビス
タッピング M4×22



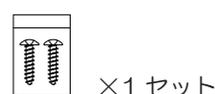
オプション

品番：FWD-TCS1

⑭ 衝突感知センサー

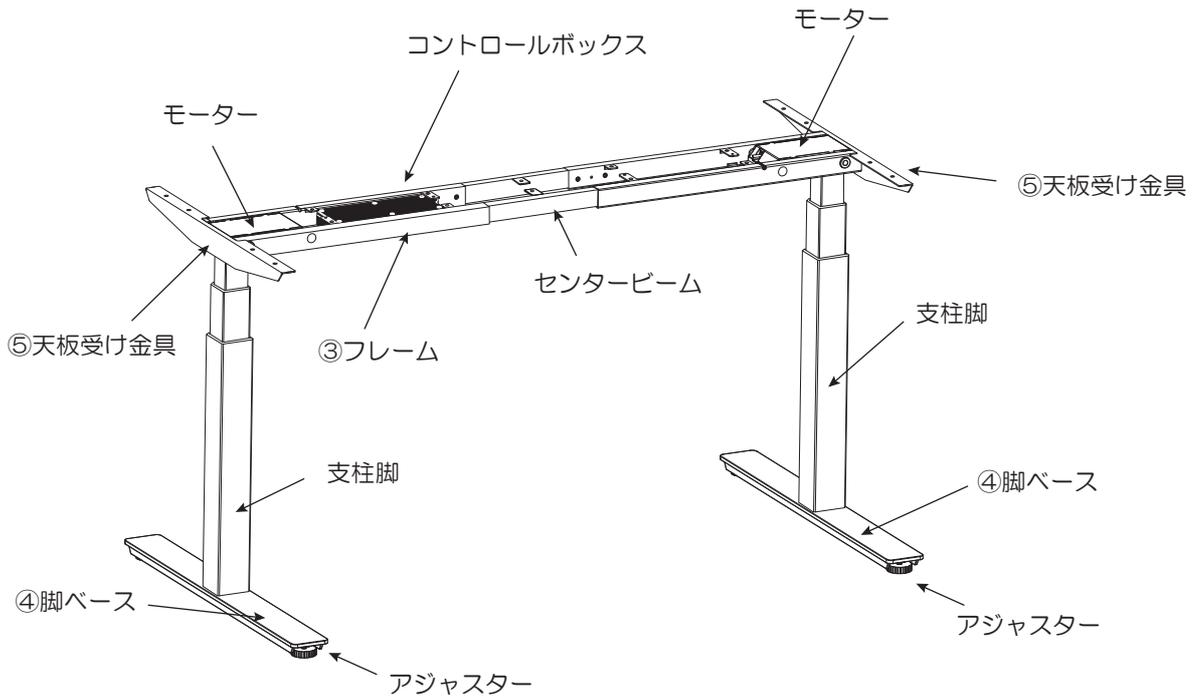


⑮ 衝突センサー取付ビス
タッピング M5×20



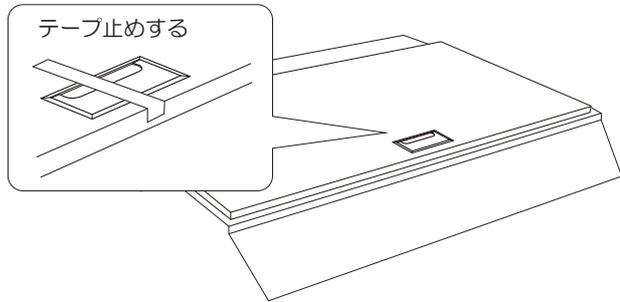
ユニット脚：FWD-TEK1

【部品名称】

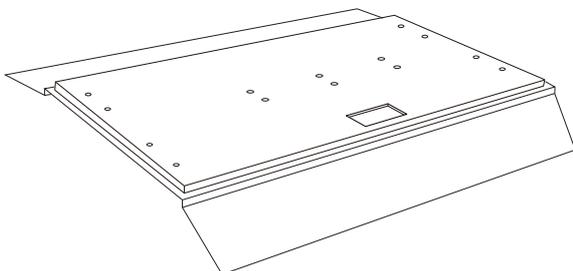


STEP.1

①天板には、配線口が装着されています。配線口アルミ製のふたが開かないようテープで仮止めなどして、開かないようにしてください。

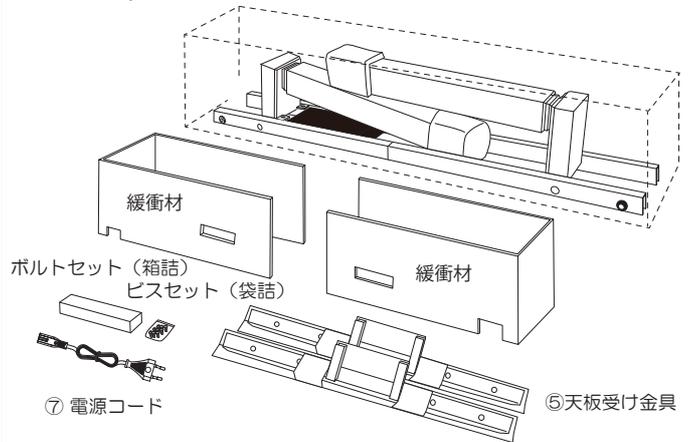


①天板をナットのついている面が上になるように平坦な場所に天板に装着された配線口のアルミ製のふたが開かないように配置してください。

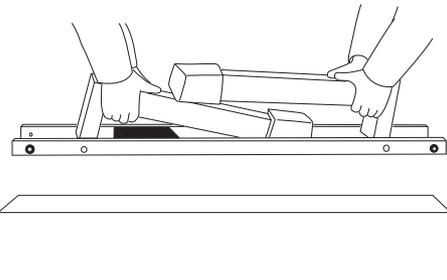


STEP.2

段ボールの中から、⑤天板受け金具・⑦電源コード・ボルトセット（箱詰）・ビスセット（袋詰）・緩衝材を取り出してください。



脚支柱を二人で両手で持ち、箱から③フレームを取り出して、その後④脚ベースを取り出してください。



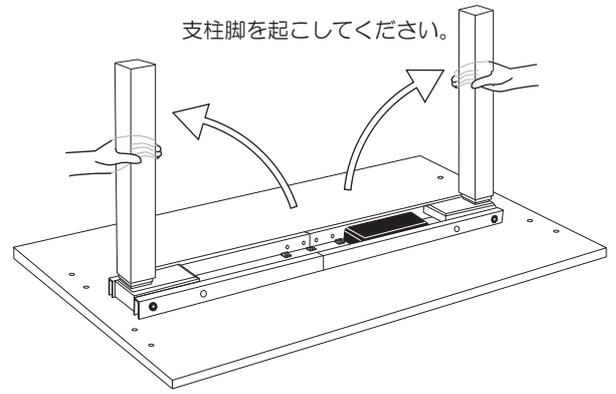
- ◆ 重量がありますので二人以上で取り出してください。また、配線コードをフレームに絶対挟まないでください。
- ◆ 脚支柱を起すときは、指を挟まないでください。
- ◆ 配線コードをフレームに絶対挟まないでください。
- ◆ 脚が倒れてこないように注意してください。

STEP.3

設置した①天板の上で、支柱脚を矢印の方向に起こしてください。



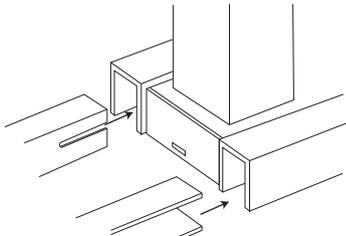
・脚が倒れてこないように注意してください。



STEP.4

③フレームの支柱脚を持ち上げ、④天板受け金具を差し込みます。③フレームにキャップボルトが装着されています。⑤天板受け金具と③フレームのキャップボルトを六角レンチで強く押し込みながら締めつけてください。(8カ所)ガタツキがないように必ず締めつけてください。

矢印の部分に奥まで差し込んでください。



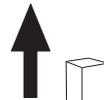
⑤天板受け金具

ピッタリとつけること



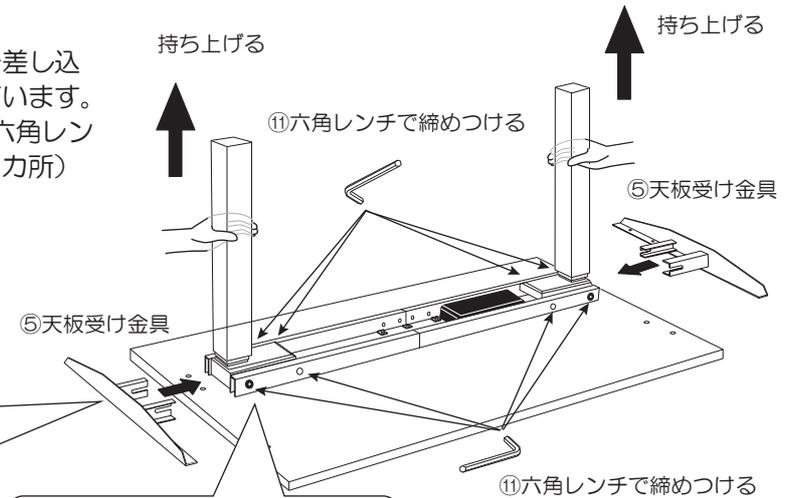
⑤天板受け金具は③フレームの奥まで差し込んでください。

持ち上げる



⑪六角レンチで締めつける

⑤天板受け金具



持ち上げる

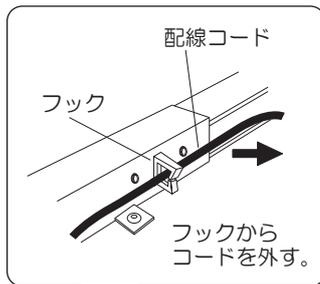
⑤天板受け金具

⑪六角レンチで締めつける

キャップボルトを締めつける

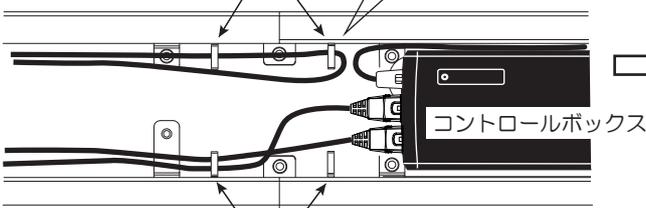
キャップボルトが装着されています。強く押し込みながら六角レンチを回して締めつけてください。

STEP.5



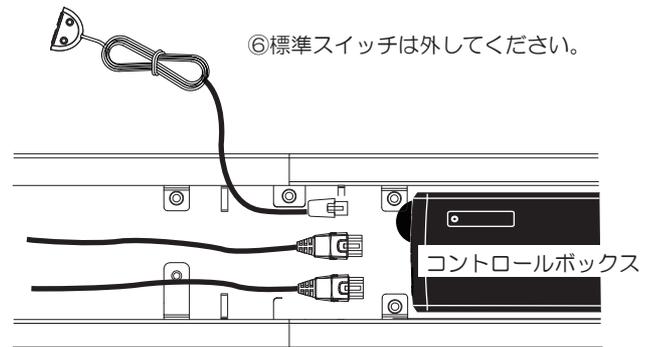
③フレーム

フック



フック

③フレームのコントロールボックスに接続されたモーター(2か所)・⑥標準スイッチ(1か所)の配線コードを配線端子から図のように外してください。
③フレームのフックに装着された配線を外してください。



・無理やり引っ張って配線コードを外さないでください。
・配線コードは、フレームに挟まないでください。

STEP.6 ※ FWD-127 はこの作業は不要です。

③フレーム（センタービーム）の丸印に装着された止めねじ（8ヶ所）を⑪六角レンチで緩めてください。支柱脚を持ち上げながら、センタービームを伸ばし、①天板の取付穴と③フレームの⑤天板受け金具の穴を合わせてください。



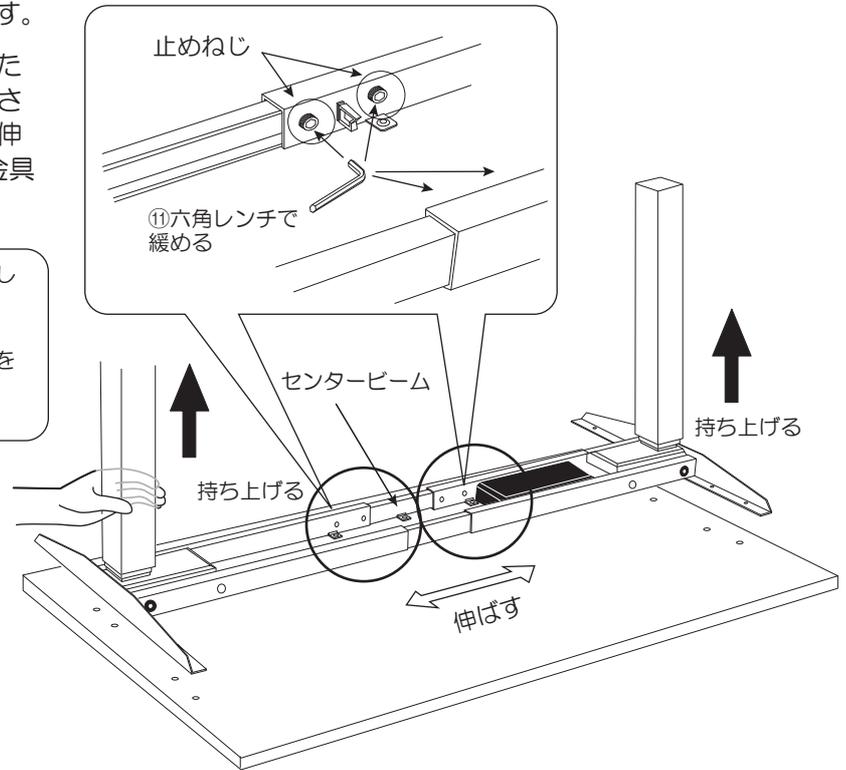
注意

- 配線コードは絶対にフレームに挟まないようにしてください。
- 天板は傷がつかないように保護してください。
- フレームと天板取付穴金具を合わせる際、天板を傷つけないよう注意してください。



指はさみ注意

- 指はさみに注意してください。

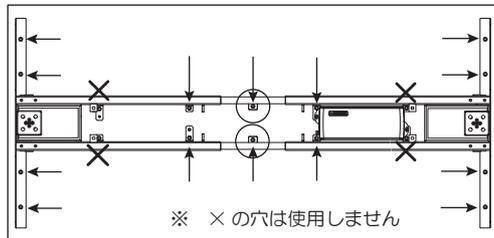


STEP.7

③フレーム⑤天板受け金具の穴と①天板の穴位置をあわせて⑫天板取付ビスをプラスドライバーで仮締めした後、全ての⑫天板取付ビスを完全に締めつけしてください。

※注 1

FWD-1890 は丸印部の⑫天板取付ビス止めはありません。

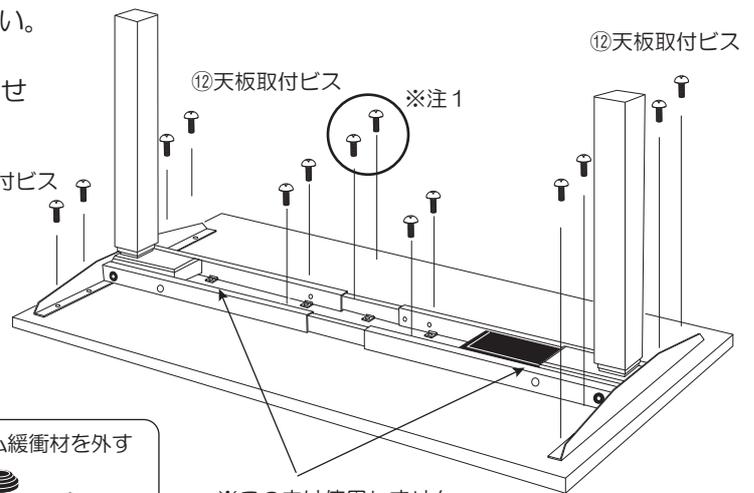


⑫天板取付ビス



注意

- 配線コードは絶対にフレームに挟まないようにしてください。



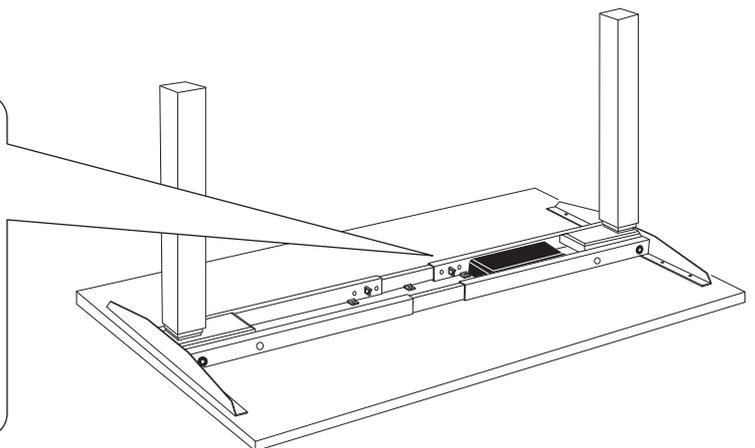
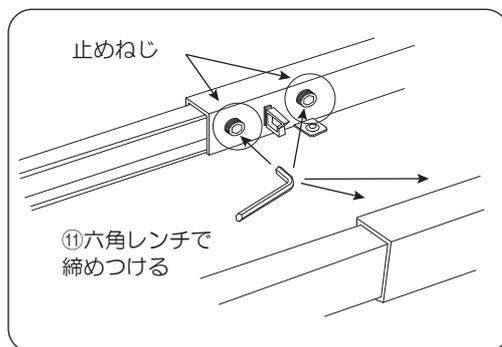
注意

- ③フレーム・⑤天板受け金具の穴にはゴム緩衝材が装着しています。天板を取り付ける際、穴位置が合いにくい場合は、ゴム緩衝材を外してください。



STEP.8

STEP.6 で緩めた止めねじ（8か所）を⑪六角レンチで締めつけてください。

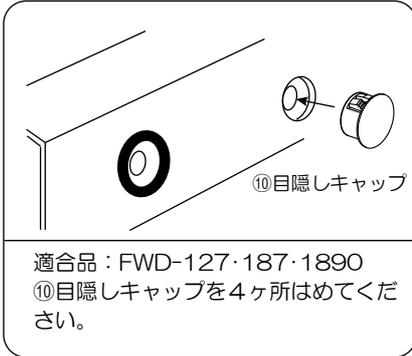


STEP.9

③フレームの脚支柱の取付穴と④脚ベースの穴位置を合わせて、⑧脚取付ボルトを各4本、(計8本)⑪六角レンチで締めつけてください。

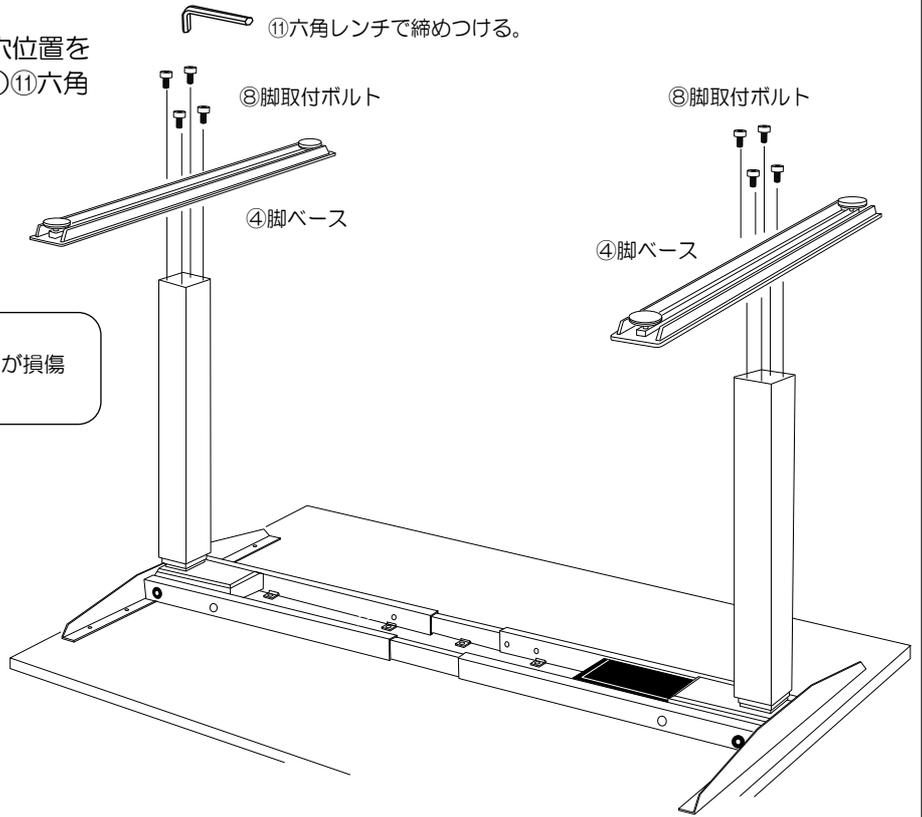


・二人以上で作業を行ってください。
一人で作業をすると脚ベースを落とし、製品が損傷したりけがをする恐れがあります。



⑩目隠しキャップ

適合品：FWD-127・187・1890
⑩目隠しキャップを4ヶ所はめてください。

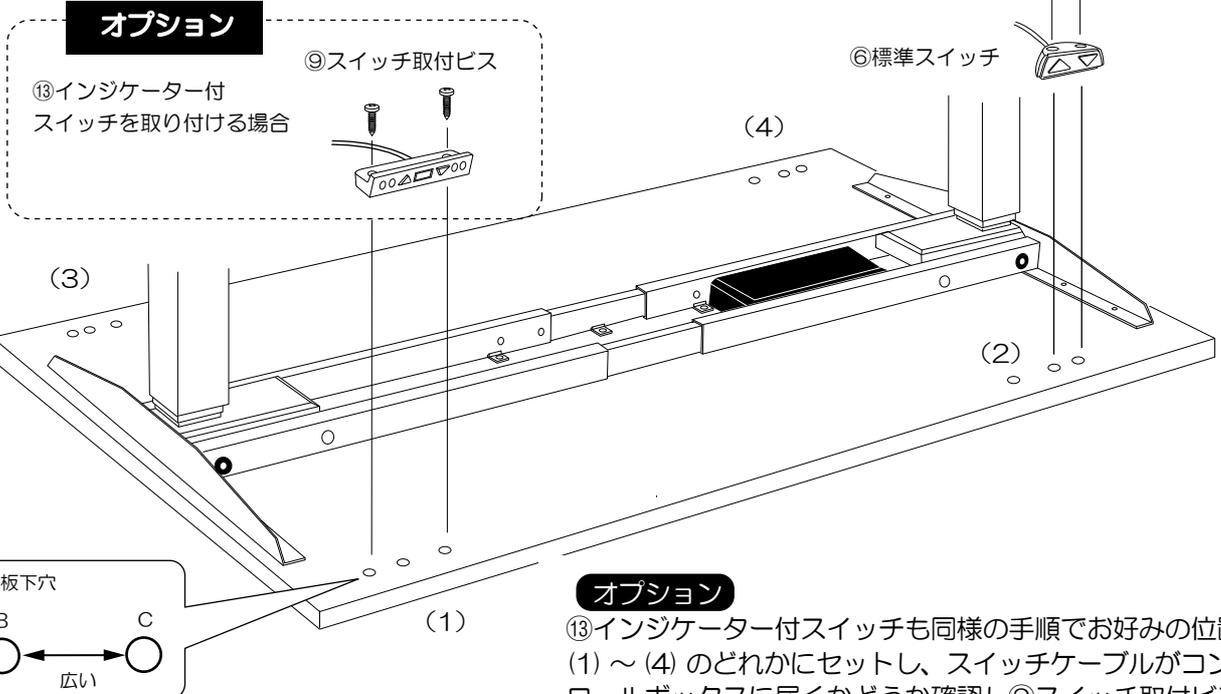


STEP.10

①天板にスイッチ用の(※1)下穴が開いています。
⑥標準スイッチをお好みの位置(1)～(4)のいずれかにセットし、スイッチケーブルがコントロールボックスに届くかどうか確認し⑨スイッチ取付ビスをプラスドライバーで締めつけてください。



・スイッチの取付位置はお客様に確認してください。



オプション

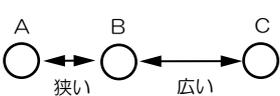
⑬インジケータ付
スイッチを取り付ける場合

⑨スイッチ取付ビス

⑨スイッチ取付ビス

⑥標準スイッチ

スイッチ用天板下穴



標準スイッチはA・B
インジケータ付スイッチはA・C
の下穴をお使いください。

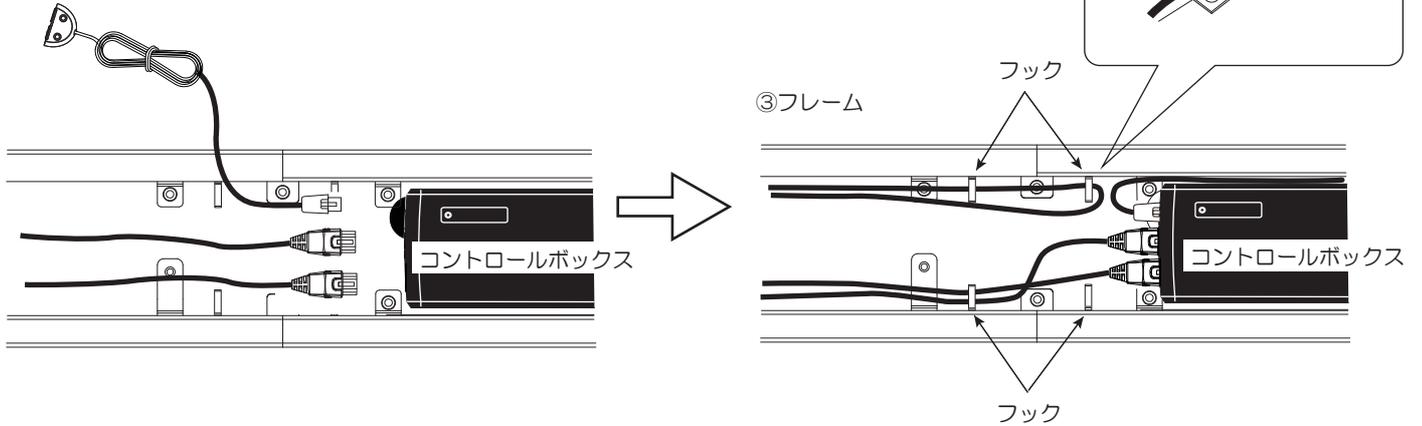
オプション

⑬インジケータ付スイッチも同様の手順でお好みの位置(1)～(4)のどれかにセットし、スイッチケーブルがコントロールボックスに届くかどうか確認し⑨スイッチ取付ビスをプラスドライバーで締めつけてください。

(※1) FWD-1890は4か所に下穴が開いており、
それ以外の品番は2か所に下穴が開いています。

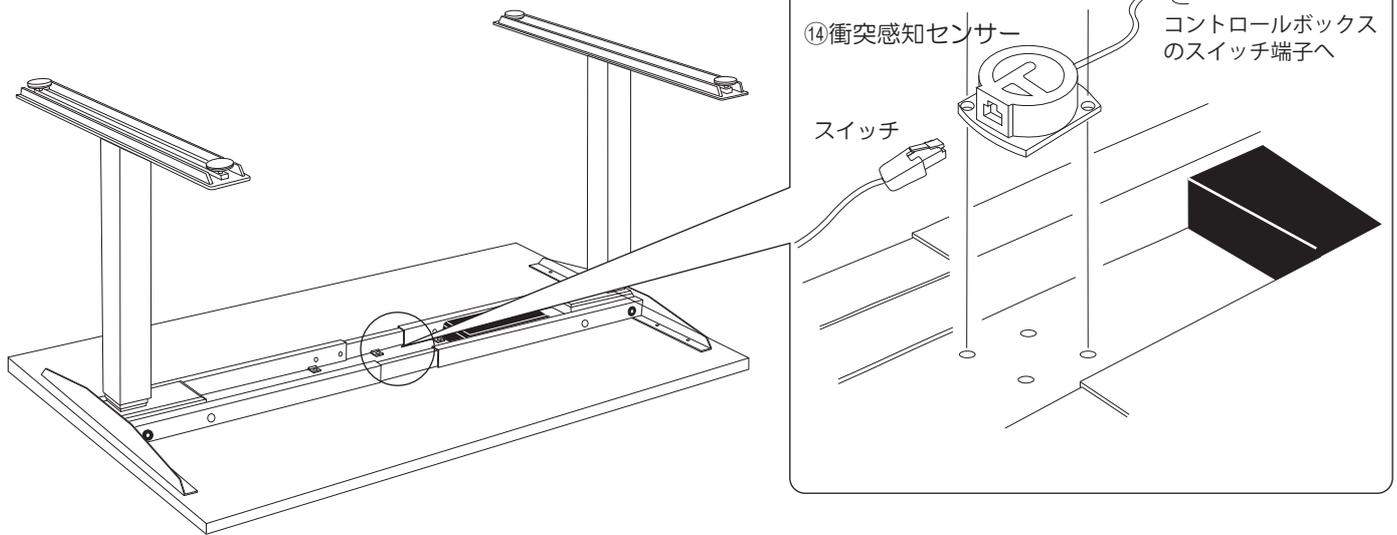
STEP.11

STEP.5 で外したモーター（2 か所）・標準スイッチ（1 か所）の配線コードをコントロールボックスの配線端子に接続してください。
また、配線コードも同様に、③フレームに装着してあるフック（計 8 個）を使い収納してください。

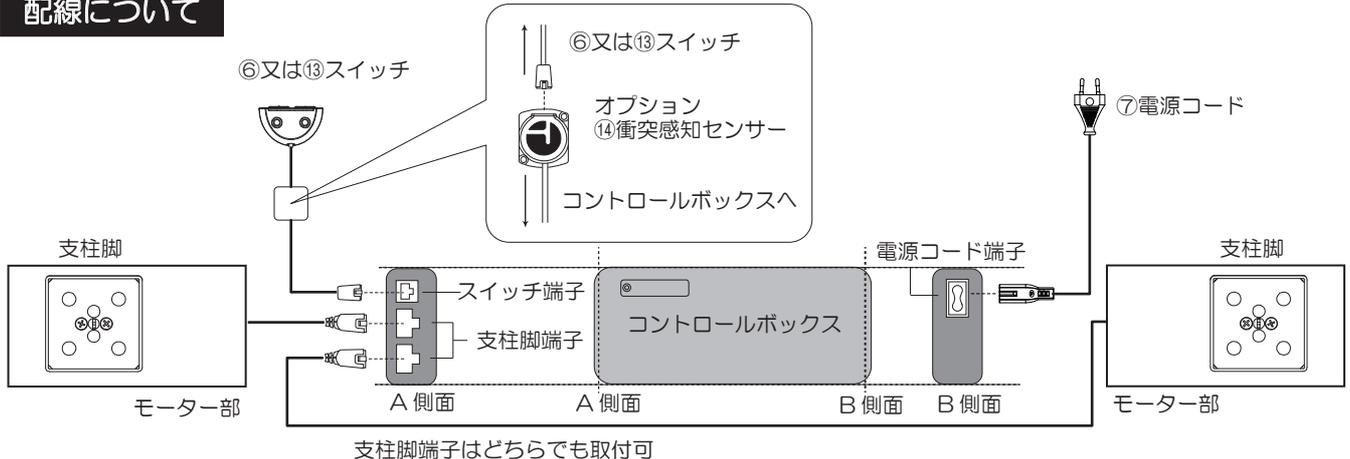


オプション：衝突感知センサーを取付ける場合

- ⑭衝突感知センサーは天板裏の中心付近の下穴に合わせて
- ⑮衝突感知センサー取付ビスを締めつけてください。



配線について



STEP.12

配線接続を完了したテーブルを二人以上で起こしてください。
テーブルにガタツキがあれば、④脚ベースに装着のアジャスター
で調整してください（調整範囲 5mm）。

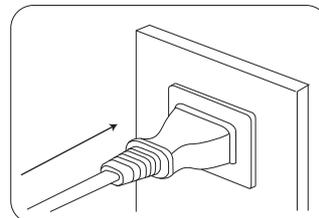
①天板のスイッチ取付部の上あたりに②注意シールを貼って
ください。

⑦電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

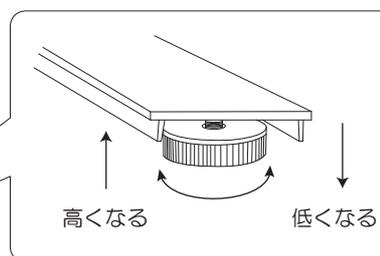
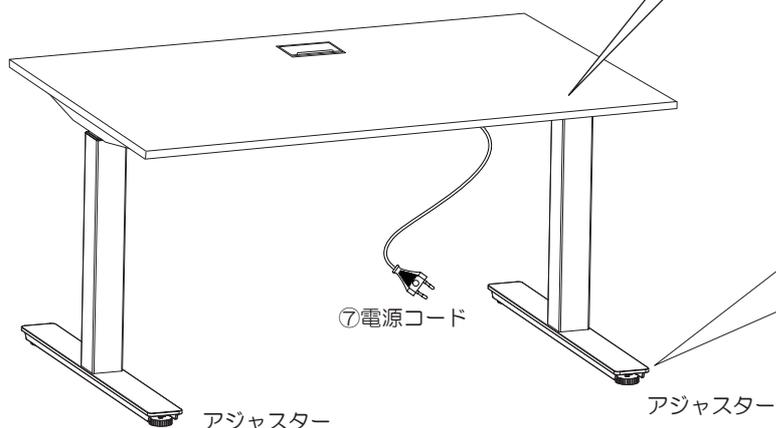
②注意シール



注意シールを貼ってください。

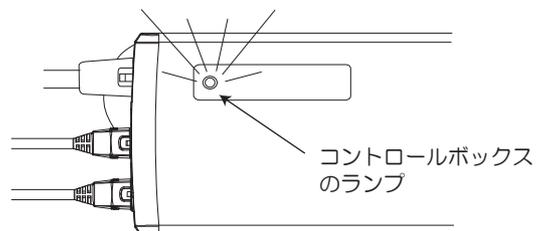


電源をコンセントに差し込む。



【コントロールボックスのランプの確認】

⑦電源をコンセントに差し込んだ後、③フレームのコントロール
ボックスのランプが緑色に点灯しているか確認してください。

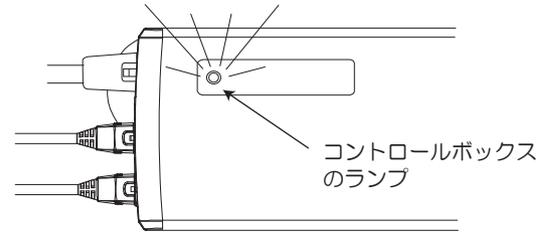


STEP.13

【初期設定】

1. コントロールボックスのランプの確認

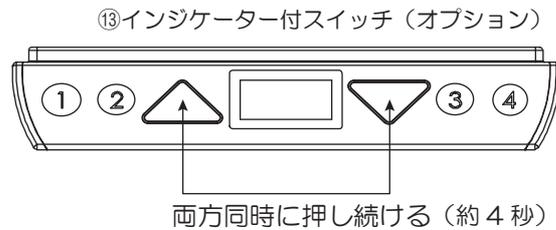
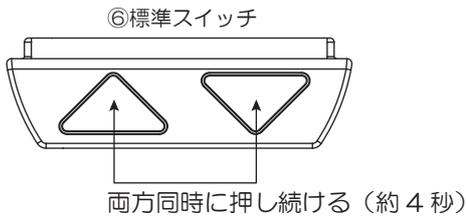
コントロールボックスのランプが緑色に点灯しているか確認してください。



2. リセットの操作

⑥又は⑬スイッチの△上昇ボタンと▽下降ボタンの両方のボタンを『ピッ』と音が鳴るまでの同時に押し続けてください。(約4秒)

両方の支柱脚が最も低い位置になれば、リセット完了です。

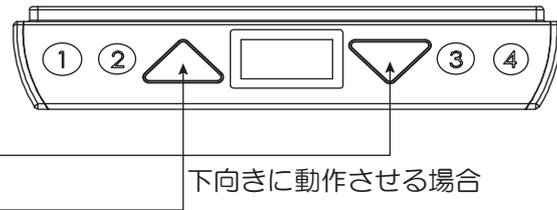
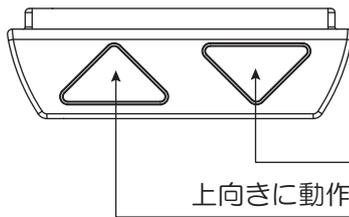


3. 脚部（天板）の上昇・下降操作

リセット後、△上昇ボタンと▽下降ボタンを押し、正常に動作しているか確認してください。



■周囲に昇降動作の妨げになるものが何もないことを確認してから動作させてください。



オプション：インジケータ付スイッチの場合

設定したい高さで設定したい番号のボタンと△ or ▽を同時に2秒間長押しすると記憶されます。同様の手順で②～④まで、記憶できます。

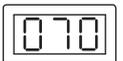
例：①のボタンに高さ70cmを記憶させたい場合

まず天板の高さを△ or ▽ボタンを押して70にします。

次に①のボタンと△ or ▽ボタンを同時に2秒間長押しすると、画面にP1と表示されます。

これで①ボタンに70cmが記憶されました。①のボタンを押すだけで設定した70cmの高さで止まります。同様の手順で②～④まで、記憶できます。

画面



■ 設置における注意点

テーブルを並べて配置する場合は、20mm以上離してください。

壁など障害物がある場合、20mm以上離して設置してください。

テーブルの周辺には、障害物を置かないでください。

